

中央の大きな画像は本校三年目の航空写真です。一期生アルバムより頂戴しました。せっかくなので、



理数科棟完成！！

教室が増え、習熟度別学習が効率よく実施できるようになった。



太陽光パネル設置。電気フリーではない

二十年間の歴史をハード面の変化で見てもみましょう。周りの小さな八枚の画像は現在の姿です。



創立三年目の航空写真

部室完成。十六棟ある。それまでは部活荷物は教室などに。



三年目に学寮が完成した。その屋根をお色直し。赤から緑です。



グラウンドですが、何か変わりましたか？当初は天然芝で覆われていた。野球などの練習に不向きだったそうで。欠点として砂ぼこりが発生。

校門近くのガジュマルが大きくなりました。

コンビニも開店。以前なら考えられない。



学校周辺はサトウキビ畑。ではなく、今や住宅地です。コンビニ向かいには商店があった。

画像は鉛筆です。私はカッターを使用しています。私の鉛筆は、普段、使い続けて一年は持ちます。理由は鉛筆の芯の先ですね。

わかりにくいですが、芯の先は削りません。文字は太くなりますが、芯の減りは遅くなります。



どういわけか、私は高校生の頃からこういう性格でした。大事な書類はペンを使用するので問題なし。

沖縄県立向陽高等学校も二十四年目になりました。来年は二十五周年記念です。施設や周りの様子は少しずつ変わってきました。ところが、本校へ入学してくる子供たちの野望は変わりません。初代校長島田先生の野望は「南部の進学校としての定着」「東京大学への合格」とよく話されていました。現在、どうでしょうか。私は前半の部分は十分目標達成できたと考えています。また、十四期生で、東京大学への合格者も出ました。今後の更なる発展を誓いましょう。

図書館選書ツアー

私が二十代の頃は本屋によく足を運んだものです。現在は、様々な情報手段があるのだろう、本屋の数が少なく、本屋内もまばらと感じます。そんな中、図書館担当が選書ツアーを本校で始めて実施しました。本に親しむのは当然のこととして、その前に、本屋に足を運んでもらおうと企画しました。図書委員が主体となって各クラスのアンケート調査を参考に、購入リストを作成し、実際に書店にて活動しました。夏期講座の後、出発式を行いました。ワクワク楽しみです。



選書ツアーレポート 担当者、生徒の声

一年生女子「いつもはお小遣い等では買えない本も購入の検討ができた。でも、自分だけじゃなく他の向陽生も読みたいか考えながら選書したので時間がかかった」。担当者「購入リストと照らし合わせながらそれぞれ本を購入した。瑞々しい感性で選書された本は図書館にて特設展示し、多くの生徒が手に取っていた。選書ツアーに参加した生徒たちは自分の選書がどのくらい借りられるか楽しみにしている様子である。



夜空に輝く星は素敵ですね。子供の頃から宇宙を考えるたびにワクワクし、夜も眠れないこともありました。光は一秒で三十万km進む。一光年とは光が一年で進む距離。

その前に誰が光にスピードがあると考えたのでしょうか。四十光年先に鏡星があります。赤ちゃんをだっことした母親がその鏡星に微笑みかけました。

八十年後、その赤ちゃんは八十歳。孫から高性能な天体望遠鏡をプレゼントされました。その星をのぞいたとき、その人は微笑みました。何が見えているのでしょうか。



片道四十年か！

